

産業の多様化を目指す

M 一九八九年に自由貿易地域をつくられたそうですが、具体的にどのような場所なのでしょう。

B 加工業やロメ自治港を活用した、輸出サービス業促進のため設置された地域です。ロメ自治港は、水深の深いガルフ湾で唯一の港で、最新型の船舶も停泊することができます。

自由貿易地域で、企業が支店等を開設すると、以後十年間は付加価値税が免除されます。さらに企業が存続している間は、トーゴで支払う様々な税金が割引されます。自由貿易地域は投資を行うのに有利であるため、トーゴの国内総生産に、大きく寄与しています。さらに、雇用も促進されるので、失業率の減少にも、重要な役割を果たしています。

M 今後のトーゴの経済展望を教えてください。

B トーゴはリン鉱石の生産量で世界第五位です。しかし、かつてトーゴのリン鉱石の生産を担当していた企業の生産能力は、九三年の国際協

力の断絶期に低下してしまいました。現在は、国営の「新トーゴリン鉱石協会」が代わって担当し、新しいビジョンのもと、往年の生産力を超えるために、活動しています。

産業を多様化するための政策も行われています。大理石の石材産業を再開し、またコーヒー、カカオ、綿花等を通して、農業をさらに成長させるための政策が行われるようになりました。銅、ボーキサイト、マンガン等、未採掘の資源も多くあります。また、ロメ自治港を最大限に活用するための施策も行われています。このように、特定の産業を優先するのではなく、産業の多様化を目指しています。

M 就学率が七三%とアフリカ諸国の中ではかなり高いですね。

WHAT IS TOGO



1960年フランスより独立。人口は約600万人(2011年)。公用語はフランス語。労働人口の65%を農業が占める。首都ロメにあるロメ港は、北米・中米とアフリカ・ヨーロッパをつなぐ中継港として繁栄している。在トーゴ邦人数2人(11年)、在日トーゴ人数約40人。(11年)。第2次世界大戦前にドイツ領だった影響で、いまでもビールがアフリカで一番おいしいといわれている。代表的なビールは「エク・バヴァリア」(写真)。



●ムウェテ・ムルアカ

1961年コンゴ民主共和国(旧ザイール共和国)生まれ。81年国立イナザ・イスタ大学電子通信工学科を卒業し、ザイール国営放送入局。85年来日。東京電機大学工学科卒業後、99年工学博士号を取得。その後、科学技術庁放射線医学総合研究所研究員やコンゴ民主共和国通商代表機関の代表等を経験。さらに多数の大学で教壇に立つ。現在、神奈川工科大学特任教授、千葉科学大学教授等を務めている。著書に「ムルアカ・クレッシェンド」(モッツ出版)等。

B おっしゃる通りです。首都ロメ

では、就学率が九三%近くあります。

トーゴ政府は、人里離れた小さな町でも、小学校をベースとした教育システムをつくりました。また〇八年

十月以降、トーゴ政府は幼児教育と、初等教育の費用を全額負担するようになりました。トーゴの教育システムは、後に市場に還元される労働者の質を上げるため、高く評価されています。ちなみに、日本への留学生は、現在確認できているのは二人です。今後、

交換留学はもちろん、大学同士の交流も増やしていきたいです。

アフリカのミニチュア

M 北部と南部で、文化や言語がまっ

たく違うといわれています。

B トーゴは「アフリカのミニチュア

ア」だといわれます。これは文化的多様性によるものです。トーゴには四十以上の民族があり、それぞれが異なる言語や文化を持っています。違いがあるのは北部と南部の間だけではありません。ぜひトーゴを訪問し、「アフリカのミニチュア」を体験することをオススメします。

トーゴのビール醸造所「BBL OME」は一年に、ギネス社が認定する「二〇一〇年リーグ・オブ・エクセレンス・ギネス」を受賞しました。同賞は、世界各国のビール醸造所が、十二カ月間のチームワークや品質を競うもの。これにより、世界一のギネスビールと認定されました。今回は〇六年に続いて二回目の受賞です。今後、トーゴのビールを積極的にプロモーションしていきたいです。